



春日小だより

平成30年7月20日
練馬区立春日小学校
校長 水井 清
学校通信 夏休み号



夏休みを迎えるにあたって

校長 水井 清

夏の太陽の強烈な日差しを受け、猛暑に相応しい天気が続いています。いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みがやってきました。この4月からの約4ヶ月間、子供たちに大きなけがや事故がなく教育活動を進めることができましたことは、保護者の皆様に初め、地域の皆様、教育委員会の皆様のご理解とご厚情のたまものと感謝申し上げます。

さて、夏休みを迎え「終わった」と一気に喜び、気を抜いてしまうことは、良くあることです。しかし、できることならば子供たちには、今学期を振り返り、集中力や気配りを切らさず、落ち着いて夏休みを迎えて欲しいと願っています。

日本の武道や稽古事では「残心」という言葉があります。聞き慣れない言葉ですが「ごんしん」と読み、ひとつの動作を終えた後でも緊張を解かず、精神の集中を持続することを意味するようです。例えば、剣道の試合においては、勝者はガッツポーズやVサイン、あるいは跳んだりはねたりして喜びを表した瞬間、間違えなく1本を取り消され、負けを言い渡されます。喜びの感情を表に出すことは「残心」のない振る舞いであり、武士道に反するということになります。また茶道においては、お客をもてなした後すぐに大声で話を始めたり、片付けをしたりするのではなく、帰って行く客を最後まで見送り、今日の客との一期一会の出会いをしっかりとかみしめることのようにです。

ひとつのことをやり終えた後、すぐにその気持ちを絶って終わらせずに、一生懸命取り組んだときの気持ちをしばらく残すのです。そうすることで、やり遂げた成果は、より一層強固になります。またその成果は、更に良い結果を導くものです。

1学期は7月20日をもって終了します。真剣に勉強に取り組んだのか、友達に優しくできたのか、最後まで頑張ることができたのか。長い夏休みに入る前に子供たちには1学期頑張ってきたことをしっかり振り返って欲しいと思います。

◆夏休みを安全に楽しく過ごすために、次のことにご注意ください◆

- 外出時は、できるだけ一人では行動しない。複数で行動する。
- 外出するときは、「だれと、どこへ、何時まで」を、家の人に言ってから出かける。
- 道路の横断の時は、左右をよく見て安全を確認する。交通ルールを守り、自転車に乗る。
- 登下校や外出時は、必ず防犯ブザーを携帯する。防犯ブザーが故障していたり、電池がきれたりしていないか確認をお願いいたします。
- 知らない人に誘われても、ついていったり、物をもらったりしない。
- 不審な人に声をかけられるなど、危険だと思ったら、大声を出して逃げるか、近くの家になかけこんで助けを求める。

<不審者を見かけたり、事件が起きたりしたとき>

すぐに110番 (110番に連絡した後、学校にも連絡を。)